

Lions Clubs International District 334-C

the Lion



ザ・ライオンタイムズ DISTRICT 334-C



2020-2021

Vol.2

- 地区ガバナーアピール
- 川勝静岡県知事 年頭挨拶
- ACT報告
- 年次大会案内
- 事務局だより

地区ガバナーアピール

地区ガバナー
久保田 紀之

新年、明けましておめでとうございます。

光陰矢の如し、コロナ禍の中でも時間だけは遠慮なく過ぎていきます。下半期に突入した矢先に近隣の11都府県に「緊急事態宣言」が発令され、終息の方向が見えない状況となっております。

昨夏は長梅雨の後、これまで経験したことがないような暑さ、コロナと猛暑の二重苦の中、地区ガバナー公式訪問も何とか滞りなく終えることができました。14ゾーンそれぞれが印象に残る出会いの場でありました。ZCを始め各クラブ会長、メンバーの皆様には大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

公式訪問を通じていろいろ分かったことがあります。まず静岡県はとても広いということ、地域やクラブにより奉仕活動への取り組みがバラエティーに富んでいること、少人数でも明るく楽しく活発に活動をしているクラブがあったこと・・・等々。またゾーンによってコロナの影響で、ガバナー公式訪問への対応にかなりの温度差があったことが特筆されます。

そんな中ではありますが、今年度のスローガン「“We Serve” の精神で 地域に誇れる感動の奉仕を！」のもと、健康には充分ご留意頂き、可能な範囲でライオンズ活動に取り組んでいただきたいと思います。

また、今年度地区全体での正会員純増目標50名の達成にもご尽力いただければ幸いです。コロナ禍の厳しい状況の中6月末の退会者数の増加を大変懸念しておりますが、地域から求められるやり甲斐のある奉仕活動こそ、退会防止・会員増強の最大の対策であると思います。

4月18日(日)には第67回地区年次大会、5月23日(日)には334複合地区年次大会が当地区3R・富士市にて開催予定となっております。現在、コロナ禍の状況と格闘しながら、鋭意準備に多くの時間と手間を費やしておりますが、2つの年次大会を何とか成功裡にやり遂げ、年度末には皆様と共に達成感に浸り、笑顔で祝い合うことが出来るよう祈る日々であります。

会員の皆様方の今年が、コロナに負けない明るく素晴らしい年になりますよう、心よりご祈念申し上げます。

CONVERSTION

新年ご挨拶



静岡県知事 川勝平太

明けましておめでとうございます。

ライオンズクラブ国際協会334-C地区の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から、県内各地において環境保全や青少年健全育成など、様々な奉仕活動に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

昨年来の、新型コロナウイルス感染症の拡大は、私たちの日々の生活や働き方に大きな変化をもたらしました。貴協会におかれましても、これまでと同じ活動方法が取れない中、大変な御苦勞の末、感染拡大防止のための新たな生活様式を取り入れ、引き続き熱心に御活動いただいていることに対しまして、深く敬意を表します。

世界的なつながりを持つ奉仕団体である貴協会の皆様は、“We(ウィー) Serve(サーブ)”のモットーに基づき、これまで培われてこられた豊富な経験を活かし、より良い地域社会の実現のために、引き続き御活躍されますよう御期待申し上げます。

本県は、「富国有徳の美しい“ふじのくに”づくり」を県政運営の基本理念に掲げ、コロナ禍や人口減少、高齢化などの課題を克服し、ウィズコロナ、アフターコロナ時代においても持続可能な魅力ある地域づくりを進めております。

新型コロナウイルス感染症の影響により、支えを必要とする方が増え、社会貢献活動への期待はますます高まっておりますことから、引き続き、貴地区の皆様のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、ライオンズクラブ国際協会334-C地区のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げまして、新年の御挨拶といたします。

10月11日 フードドライブ

1R・1Z 浜松東LC



青少年育成を兼ね、地域住民を巻き込んだ1R・1Z、8LCと恒例の合同アクティビティー「佐鳴湖ヨシ刈り」がコロナ禍の為、中学生・高校生・大学生の参加が辞退となり、今期の佐鳴湖ヨシ刈りが中止となった事はアクティビティーを通してZ内のクラブ員同士の親睦を計って来た事が実行できず、誠に残念な事でした。

その分のエネルギーを例年実行が重なってしまっていた「地区76クラブ統一奉仕の日」「フードバンクふじのくに」への食品回収キャンペーン「フードドライブ」を8LCの力を結集して実施致しました。3蜜を避けるため、クラブの代表者のみの参加となり、少し寂しい感はありましたが、今まであまり馴染みが薄かったように思えた「フードドライブ」が8LC一致団結の元、今まで以上に盛況に実施をできた事、大変嬉しく思います。

生活に固窮する人らの支援が目的である実施の意義を再確認できたと思います。

コロナ禍の重苦しい空気の中で、感じ思うことは、今まで、全て当たり前のように開催してきた例会、アクティビティーも中止や延期の昨今、些細なことであっても人に尽くす事の出来る私達の幸せに感謝しなくてはいけないと思います。

謙虚な心で「何かできることはありませんか？」・・・

SPECIAL EDITION

ヘアドネーション協力事業

1 R・2 Z 磐田LC



ヘアドネーションとは、小児がんの治療等、何らかの事情で頭髪を失い、ウィッグを希望する子どもたちのために、髪の毛を贈る運動です。磐田ライオンズクラブは、2019年11月からヘアドネーションへの協力事業を開始いたしました。きっかけは、LION誌に、他地区のこの活動が何例か紹介されたことと、当クラブの事務局員の娘さんが、髪を贈りたいと言ってくれたことでした。

最初は全く手探りの状態でしたが、まず、協力してくれる美容室が決まり、勧誘と説明のためのチラシを作製し、記念品として若い女性が喜びそうなアクリルストラップを用意しました。ハート型で、表は髪を切った女の子の絵、裏には当クラブの電話番号とQRコード等を入れたものです。記念すべき1回目は、地元新聞に掲載され、その後は試行錯誤ではありましたが、現在までの約1年間で、協力美容室7件、ヘアドネーションは昨年度実績が29件、今年度は現在までで19件の合計48件

と、想定していたよりはるかに多い結果となりました。その理由として考えられることは、新聞の掲載内容や、当クラブ作製の掲示物・記念品等による協力美容室の意識の高揚にあるのではないかと思います。

さて、今年度に入り、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、受け入れ組織の髪 conditions が厳しくなったり、ライオンズの方針で別の組織に送ることになったりと、昨年度のような間口の広い活動はできなくなりましたが、今年度としては、3歳から77歳までの幅広い年齢層の皆さまに声をかけていただき、髪を送りました。この中には男性もあられます。

私たちはこれからも、この尊いお気持ちの橋渡しを続けていきたいと思っております。

子ども食堂きじの杜へお米券支援

1 R ・ 3 Z 浜北LC



昨年、浜北ライオンズクラブとして浜北地区の「子ども食堂きじの杜」の見学をさせて頂きました。

現在、「子ども食堂」は全国各地で開設されており、その活動の在り方は困難を抱える子どもたちへの支援を中心に活動するもの、地域の様々な子どもたちを対象とした交流拠点を設けようとするもの等あります。

いずれの活動も困難を抱える子どもたちを含め様々な子どもたちに対し食育や貴重な団らん、地域における居場所確保の機会を提供しているという意義を有しています。

「子ども食堂」を取り巻く地域の住民、福祉関係者および教育関係者等が運営と認識を共有しながら、その活動について積極的な連携、協力を図ることが重要だと思います。

そのようななか、浜北ライオンズクラブとして今後ますます「子ども食堂」への支援を充実させていきたいと思っています。

ヘアードネーション

1 R・4 Z 御前崎LC



あなたの大切な髪

ヘアードネーションしていただけますか？

ヘアードネーションとは、小児がんや脱毛症、不慮の事故などで頭髪を失った子供のために、無料で医療用ウィッグをプレゼントする活動です。

昨年ライオンズクラブとして取り組み、チラシをいただきました。内容を見ると、美容院で普通に髪をカットすればいいのかと思っていましたが、美容院としては少々手間のかかること、協力いただけるのかと心配しながら、各自行きつけ、知っている美容院を回ったのがついこの間のような気がします。1度協力してくださった美容院はその後「ヘアードネーションの髪ありますよ。」と、連絡をいただき本当に感謝しております。協力をいただいている美容院では、「せっかく子供たちが伸ばしてくれた髪を、カットしてそのまま捨てるのではもったいない、困っている人の手助けができれば、私たちもお手伝いできていると嬉しく思います。」と言って下さり、又妹さんが中学生になる

と部活で髪が短いほうが活動しやすいとのことで、ヘアードネーションに協力いただき、ライオンズクラブから感謝状が届き、それを見たお姉さんも「私の髪も誰かの役に立つなら、人が人にできる最高のボランティアだと思うから」と姉妹で協力をしていただきました。

又8月4日静岡新聞に 髪寄付「僕も」病児アシスト 小五のサッカー少年が3年間髪を伸ばしヘアードネーションした、と大きな記事が掲載されていました。男の子なのに、と思い新聞を読むと、小児がんの女の子が髪を失ったとの話を聞き何かできないかと考えていたところ、テレビでヘアードネーションを知り髪を伸ばし始めたそうです。

御前崎ライオンズクラブでは、今年のスローガン「育てよう 地域の子供に 奉仕のこころ」子供たちの心に、このように困っている人に手を差し伸べようという気持ちが育てば、いじめなどなくなり、楽しい毎日を送ることができるのではないのでしょうか。

段ボールベッドアクティビティ

2 R・1 Z 静岡橋LC



CN50周年を迎える今期、新たなアクティビティを検討した結果、表題のとおり段ボールベッドアクティビティを行うこととなった。

これは災害発生時に、指定の避難所等へ段ボールベッドの供給を行うものであり、避難所等の指定を行うのが静岡市、段ボールベッドの供給をさせていただくのがレンゴ一(株) (段ボール製造大手)、その費用を負担するのが当クラブとなっている。令和2年8月31日、上記3者による協定締結式が静岡市役所において行われた。災害時には迅速な物資の供給が求められるが、あらかじめ協定を締結しておくことによりこれが可能となる。なお、当クラブは費用の負担だけでなく、災害発生時には段ボールベッドの運搬、組立も可能な範囲で協力することになっている。そのため、クラブ内においては常日頃から段ボールベッドの組立等につき、メンバーの誰もが速やかに行えるよう、例会等の時間を利用して確認を行っている。

協定締結式の翌日9月1日には、静岡市防災訓練の一部として、葵小学校体育館にて段ボールベッドの搬入、組立デモンストレーションを行った。今年の防災訓練は、コロナ禍の中でどのように感染を防止しながら避難生活を送るかにも重点が置かれたが、段ボールベッドはその点においても有効な手段となる。また、感染症対策だけでなく、その形状からプライバシーも保たれ、慣れない避難生活中の環境改善にも役立つ。

訓練当日は、田辺静岡市長ほか出席者も多く、テレビ等のメディアにも取り上げていただいた。広く周知されることを願っている。災害は無いに越したことはないが、今後、実際に発生した場合、どれだけ速やかに、必要なものを必要な場所に届けられるかは非常に重要なこととなる。当クラブは、このアクティビティを継続事業として、あらゆることを想定しながら、これからも進めていきたいとの思いである。

SPECIAL EDITION

フードバンク寄贈について

2 R・2 Z 蒲原LC



現在世界ではコロナ禍の中在宅難民、又日本国内では近年の風水害、地震被害等予期せぬ事態に、困窮し食べ物に事欠いている人々が益々増えている現状をテレビ・ラジオ・ネット等で見聞きします。各方面の団体からも食糧支援の声があることも事実です。

しかしながらライオンズクラブでは県内に現在76クラブが一斉に動く「統一奉仕の日」で食糧支援に取り組み「認定NPO法人フードバンクふじのくに」へ3年前から活動に参加し、我がクラブ会員からは地域性のある特産品の桜えび・練り製品・ツナ缶等を提供し、他クラブにおいても特産品を含め自宅にある未使用の食料品（賞味期限一ヶ月以上）また新たに購入した食料品の米、カップ麺、調味料、菓子類等主食・副食品をお届けしています。

今年度は、2ゾーンの取りまとめ役でもあり、4クラブの皆様には沢山の品物を提供していただき有難うございました。

集まった食料品を一旦蒲原ライオンズクラブ事務所に集め「フードバンクふじのくに」へ届けるにあたり、ZC稲葉誠一ライオンの車に目一杯積み込み、重みで車が沈み運べるか不安にもなりましたが、無事届けることが出来て安心しました。各ゾーンから届いた食料品は静岡リジョンとして支援と共に見舞いと応援する気持ちで被害を受けた方々に少しでも役立てばと心から思っています。

私は、ライオンズクラブ二世会員であり、亡き母から過去にライオンズクラブの招待でヘレン・ケラー女氏が来日され、全国何ヶ所かを廻る中、静岡での講演を聴き三重苦にあって人々に勇気を与えてくれている事に感動した話を私にしてくれました。その講演を聴いた時の話が今でも思い出されます。だから私も常にライオンズクラブは奉仕の団体であると誇りを持ち、活動に参加させていただいています。

「2R3Z親善チャリティゴルフ大会

2R・3Z 島田LC



令和2年10月30日（金）、2R・3Zの例年恒例行事である親善チャリティーゴルフ大会を、静岡カントリークラブ島田ゴルフコースで開催しました。午前7時30分の受付開始前までにほとんどの参加者が来場されており、皆さんの意気込みを感じました。当日はお天気に恵まれ、暖かい日差しの中、参加者47名が笑顔で力いっぱいプレーを楽しみました。コロナ禍で、ゾーン内メンバーが集まる機会が持てなかったため、一日中野外で思いっきり体とお口（マスク着用）を動かしました。久しぶりにゾーンの仲間と顔を合わせながらの会話はゴルフ同様に楽しい時間でありました。コロナの影響でゾーン内のクラブは会合や活動を控えている現状です。このように集まって何かをするという事に大きな意味を感じました。

本ゴルフ大会で集まった寄付金は「特定非営利活動法人 こころ」へお贈りいたしました。この施設は“こころのケア活動”を目的とし、障害のある人ない人、心に問題を抱えている

人、誰もが安心して生活をする事ができるよう、様々な事業を行っています。贈呈の際は、理事長の菅原様に施設内を案内していただき、作業の様子や手作りの小物などを見せていただきました。自立し社会へ出て働きたい人や、もう一度社会復帰を目指している人などが黙々と作業しており、大きな機械を動かしたり、細かい部品を組み立てたり、ご自身が出来る作業を真剣に取り組んでおられました。

寄付金の用途は、障害のある方でも使いやすい水道の蛇口に取り換えをする予定とのこと。新型コロナ感染防止に手洗いは欠かせません。使いやすい蛇口に取り換えて、施設利用者が簡単に水道を使えるよう寄付金を有効利用していただきたいと思います。

SPECIAL EDITION

エール静岡コロナ対策基金40万円寄付

2R・4Z

(静岡駿府・静岡けやき・静岡リパティ・静岡弥生・静岡巽LC)



毎年2R4Zの合同アテ化ティは、ゾーソアパーツ主催2R4Zの5LC合同チャリティ大会の収益金を原資として何らかの奉仕活動を行ってきましたが、本年度は、このコロナ禍において5LC合同チャリティ大会の開催が困難ではないかとの意見が2R4Zの幹事会で議論され苦渋の決断で中止としましたが、5LC合同アテ化ティは、ゾーソアパーツの責務から収益金がなくとも何かの奉仕活動をするを模索してありました。その後5LCの幹事よりチャリティの各LCの協力金と個人では、各会長、地区役員とZCの援助金を拠出して地域（静岡市）の皆様に沿った寄附行為をすることの提案があり結論に至りました。このコロナ禍においてライオンの一会員として又ZCとしてコロナ関連での寄附行為事業は何かないかと情報等を入手しているさなか私の所属している、静岡巽LCのメンバーで静岡市議会議員より今年6月の市議会において承認された「エール静岡コロナ対策基金」が創設されましたことの情報を得て内容を確認し静岡市「エール静岡コロナ対策基金」に寄附する運びとなりました。

静岡市「エール静岡コロナ対策基金」とは、個人及び法人・団体より寄附を募って基金とする。基金の使用用途は、医療（医療機器の導入・重症患者等受入体制強化等）福祉、介護（マスク、手袋、消毒液）子育て（乳幼児健診における感染症対策等）教育（学校休校の影響による学力確保・維持施策）に係るコロナ感染症関連施策に使用される基金に寄附させていただき有効に活用していただくこととなりました。寄付金寄贈式は、静岡市市庁舎の市長室応接間において10月21日（水）に行われました。静岡市より5万円に感謝状が授与されました。

4ゾーソの5万円と5名のクラブ会長、地区役員、静岡巽LCクラブ部会の皆様には、援助金を頂き感謝申し上げます。2R4Z5LC合同アテ化ティは、10月のアテ化ティ月間に事業を執り行う事ができました。ライオンのもう一つの目的でありますPR活動も静岡新聞に記事が掲載されましたことをご報告申し上げます。

上記の写真は、市庁舎において田辺静岡市長と5LCの会長と私との贈呈式の模様です。
2R4Zゾーソアパーツ 小澤 薫

光と愛を 献眼運動

3R・1Z 沼津LC



千本浜公園に建立された献眼碑「光と愛と」

10月25日午後2時、秋晴れの下沼津市千本浜公園内の献眼碑「光と愛と」を囲み、2019年7月1日～2020年6月30日迄の間に角膜を提供して頂いた8名の方々のご遺族をお招きして「献眼者厚生大臣感謝状伝達式」が開催されました。この献眼碑は2009年10月に沼津の5ライオンズクラブが協力して建立したものです。

当日は、ご来賓として、沼津市長 頼重秀一様、静岡県アイバンク常務理事江川博敏様が出席されました。例年当式典は屋内で行われ、献眼碑前では献花と献眼者芳名簿の奉納だけを行ってききましたが、本年はコロナ禍を考慮し、テントを設営し、ご遺族以外の参加者はご来賓と5クラブの会長のみに限って挙行されました。

式典は主催者挨拶から始まり、頼重市長からご遺族への感謝状の伝達が行われました。来賓挨拶で、市長は、「アイバンク活動を究極の誇り高き活動」だとし、その取り組みに感謝と敬意を表し、献眼活動が長く続いていることを高く評価され、活動が更に深くより広く展開され



頼重沼津市長よりご遺族に感謝状の贈呈

ることを願っていますと述べられました。県アイバンクの江川常任理事は柳田和夫理事長の挨拶を代読「新型コロナウイルスの影響で角膜移植の手術数が減少しており献眼者のご家族の篤志に頼ることはもとよりではあるが、ライオンズクラブのなご一層の協力を是非お願いしたい」と、ライオンズクラブの今後の活動に期待を示されました。

続いてご遺族の代表として、沼津中央ライオンズクラブの会員であり今年3月にご母様様が献眼された塩見正美が「献眼は人にとって最後の、そして最大の奉仕であることを改めて感じさせられた。母親の肉体は亡くなってしまったが、角膜はどこかで、誰かのために役立っている」との思いを述べられました。この言葉に出席の皆様が深くうなずいておられました。その後参加を頂いた方全員による献花を行い、最後に慰霊碑に新たな献眼者8名のお名前を加えた芳名簿奉納をさせて頂きました。今後も5LCが協力・共同して献眼活動を更に力強く推進して行くことを心に刻みました。

SPECIAL EDITION

3LC合同清掃・N95医療用マスク寄贈

3R・2Z 富士岳南LC



富士タカオカLC、富士マウントLC、富士岳南LCの3クラブ（親・子・孫クラブ）にて毎年行っている合同例会ですが、今年度予定していた『第30回3LC合同例会』は、コロナ禍により飲食を伴う例会が開催できないため、清掃奉仕活動を行いました。具体的には、令和2年11月14日（土）に3LCのメンバー約140名にて富士市役所周辺の清掃活動を行いました。

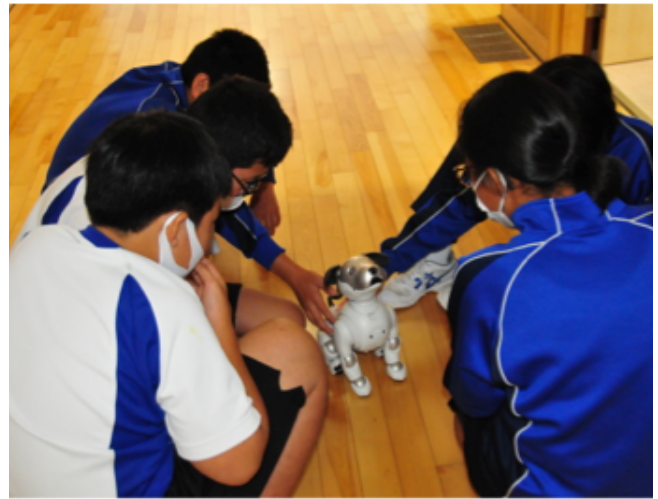
また、合同例会で予定していた例会費用で、PCR検査をはじめとする、新型コロナウイルス感染症対策に日々尽力されている、医療機関従事者への支援を行うことといたしました。

支援の内容につきましては、一般社団法人 富士市医師会との協議の上、供給不足のN95医療用マスク支援とし、2,300枚を富士市医師会に寄贈いたしました。

3LC合同例会当日は天候にも恵まれ、各LCメンバー皆様のご理解とご協力により、開会式では富士市長 小長井義正様にもご挨拶をいただき、一般社団法人 富士市医師会からは、理事で感染症対策委員会委員長の渡邊様にお越しいただき、マスクの寄贈式も無事に終えることができました。このN95医療用マスク寄贈がコロナウイルス感染症でご苦勞をされている医療機関の方々に少しでもお役にたてればと願っております。

心に寄り添うロボット犬「aibo」寄贈

3 R ・ 3 Z 御殿場 LC



御殿場LCはCN60周年を迎えます。CNの記念アクティビティとして、市内6中学校に、SONY社のロボット犬「aiboアイボ」の寄贈を行いました。これは、現会長L.根上武久の「青少年育成のお役に立ちたい」という、強い想いから実現したものであります。

学校に行きたくても行けないという心の葛藤を持った子供たちが居る現実を知り、クラブとして何か出来ないか？ということを以前から模索しており、御殿場市教育委員会と相談したうえで決定しました。

決定までには、クリアしなければならない問題もありました。ただaiboを寄贈するのではなく、aiboをどのように活用し、どんな効果を得らるのか？などの検証が必要でした。

しかし、中学校でaiboを持っている（飼っている）学校はどこにも無く、効果は未知数でした。それでも、aiboのオーナーの言葉などを調べ、

aiboがもたらす癒しの効果は確実にあり、きっと子供たちの心の支えとなる。

という結論に至りました。市教育委員会も、aiboがきっかけとなってほしい。とaiboに期待を寄せています。

今年度会長方針の中に「手から手へぬくもりの伝わる奉仕の心」があり、まさにぬくもりのある、親が子を想う心のアクティビティとなりました。

思春期の子供たちには様々な悩みがあり、何とか学校に行けても、教室に行けない、保健室登校の子供たちが増えているという現実には、「心に寄り添う愛くるしいaibo」は、傷ついた子供たちの心の拠り所となってもらえるでしょう。そして市内の中学校で、それぞれ名前を付けられたaibo達は、今日も元気に、誰かの登校を待っていることでしょう。

世界ライオンズ奉仕デー活動

3 R・4 Z 富士宮LC



わがクラブは毎年、世界ライオンズ奉仕デーの10月8日に合わせ全会員で奉仕活動を実施しています。雨天にもかかわらず、献血活動と市内清掃等を各班に分かれて奉仕活動を行いました。各所に寄贈したモニユメントの清掃や周辺の除草、設置した広告塔の安全点検や、富士山登山道に接した土地に育成管理して市民の憩いの場となっている「かえでの里」の下草刈り等、美しい公園にするための植樹等の管理作業を行いました。朝から冷たい雨が降り、外での作業はとても大変でしたが、力を合わせめげずに懸命に奉仕活動に励みました。同日行った献血活動もコロナ禍の中で、平日で冷たい雨の中、来訪者がどれだけいらっしゃるか不安でしたが、事前の新聞告知やポスター設置、葉書、SNS、市の広報等を駆使したことが功を奏し、このような状況下でも多くの方々が献血に足を運んで下り、感謝の気持ちで一杯でした。

今回初めての試みとして、環境問題の解決に向けた第一歩のための「レジ袋有料化」に伴い当クラブオリジナルロゴマークを使ったエコバックを作製しました。ロゴは当クラブを身近に感じてもらい、親しんで頂けるよう名産、名所をふんだんに取り入れています。献血協力者にプレゼントし、当クラブをより多くの方々に知ってもらえるようにしました。合わせてアイバンク登録、ドナー推進カード・骨髄バンク登録や盲導犬育成募金等への協力、更にペーパーレス化も考慮した献血の実地広報活動への登録を呼びかけました。この活動の成果も上がりSNSの登録者も増えています。協力して下さった市民の皆さんに応援され、今後も個々のメンバーもそれぞれの志を高く持ち、強い絆で一丸となり、良い奉仕活動ができると実感しました。更なる力を発揮できるように日々の活動を実践し、来年以降に繋げたいと思います。

盲導犬キャラバンを展開

「心のユニバーサルデザイン普及活動」の一環

4R・1Z 伊東LC



伊東ライオンズクラブ（藤井徳政会長、会員43人）は、独自のアクティビティーとして「心のユニバーサルデザイン普及活動」に力を入れています。身体障害者の中でも支援が届きにくい視覚障害者を対象に、1983年から取り組んでいます。伊豆地区でいち早く始めた献眼登録運動と、日本盲導犬協会の訓練センター「富士ハーネス」（富士宮市）の協力による「盲導犬キャラバン」が2本柱で、2018～2019年度の334-C地区「ガバナー特別賞」を受賞しました。

2020～2021年度初の「盲導犬キャラバン」は11月20日、県立伊東高城ヶ崎分校体育館で開かれました。3年生25人が講話や実演により盲導犬や視覚障害者への理解を深めました。

同分校の希望を受け、伊東LCが富士ハーネスに依頼・調整し、約2時間の特別授業が実現しました。富士ハーネス普及推進部の村野巧実さん（30）と、全盲で盲導犬とともに生活する押野まゆさん（34）が、PR犬と盲導犬を連れて講師を務めました。

最初に村野さんは、PR犬で訓練の様子を再現しました。その上で「盲導犬を見かけても、犬の注意が散漫になるので、目を合わせたり、声を掛けたりしないで」。押野さんは「最近、視覚障害者が駅のホームで線路に転落する事故が多い。盲導犬と一緒に歩いている場合は危険なので、立ち止まるよう声を掛けてほしい」と呼び掛けました。参加した生徒は「ユーザーと盲導犬との間にしっかりとした信頼関係ができていることに驚いた。東京の大学に進学するので、危険な場面に遭遇したら助けたい」と感想を話しました。

例年行っている生徒と盲導犬との触れ合いは、新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。また本年度は他の学校での開催が難しく残念ですが、伊東LCは今後もこのアクティビティーを継続したいと考えています。

県立東部特別支援学校奉仕作業

4R・2Z 韮山 LC



令和2年10月18日。伊豆の国市寺家の県立東部特別支援学校で樹木の剪定や草取りの清掃奉仕作業を行いました。

今年で27年続けています。例年、地区統一アクティビティの奉仕デイに合わせて、学校と打ち合わせをしながら、韮山ライオンズクラブのメンバー・教職員・PTAの方と、多勢で執り行ってまいりましたが、今年には新型コロナウイルスの影響で、PTAの参加は取りやめとなりました。

また、例年は校内清掃も行うのですが、今年には、新型コロナウイルスの感染症防止のため、見送ることとなり、外の作業のみを行いました。

梯子などを使った高所作業や、植え込みの中の草取りなど、普段教職員の皆様が中々出来ない場所の作業を重点的に行いました。

韮山ライオンズクラブのメンバーと教職員、合わせて37名の参加で今年も行い、校長先生から『私たちだけでは手入れが行き届かない部分もあり、毎年大変ありがたい』と感謝の声を頂きました。

特に今年には、新型コロナウイルスの感染予防対策として、校内の消毒作業や清掃に追われ、外の作業を行う時間も人手も足りなかったということで、大変意義のある奉仕作業だったと思います。今後も継続していく所存です。

ライオンズクラブ国際協会334-C地区 第67回年次大会へのお誘い

今年度はコロナ・コロナで明け暮れ、2021年の年明けには近隣の11都府県に「緊急事態宣言」が発令され、会員の皆様方も公私にわたりご苦労されていることと存じます。

ライオンズにおいても予定した活動が思うように出来ず、達成感に満たされる機会も少ないものと拝察いたしますが、変わらず時節は流れて春を迎えようとしております。

今年度は「“We Serve”の精神で 地域に誇れる感動の奉仕を！」というアクティビティ・スローガンを掲げさせていただきました。これまでに経験したことのない苦難の中でも、各地域に即した形でライオニズム高揚のための模索・努力をされておられることに敬意を表すると共に心より感謝申し上げます。

さて、既にご案内の通り「334-C地区 第67回年次大会」を来る4月18日（日）富士市文化会館「ロゼシアター」にて開催いたします。当初の予定を変更し、コロナ禍の中の対応として、午後からの開催とさせていただきます。

地区年次大会は、地区内76クラブの奉仕活動の集大成の場であります。この1年間の各クラブの活動の軌跡を振り返り、共に讃え合い、次年度への更なる躍進を確認する場となるよう、ホスト3R・2Z・5クラブメンバー一同鋭意準備を進めておりますので、できる限り多くの皆様のご参加を賜りますようご案内申し上げます。

開催地の富士市は、文字通り富士山を北に間近に仰ぎ、南に駿河湾、中間地は緑の茶畑が広がる風光明媚なところでもあります。また製紙を始め、電機・化学・機械などの産業が盛んな工業都市で「しあわせを実感できるまち」を目指しています。ご参加の皆様方にはこの富士市のありのままを感じ取っていただければ幸いに存じます。

記念チャリティゴルフ大会は、3月24日（水）に富士市・リバー富士カントリークラブにて開催いたします。奮ってのご参加をお待ちしております。

春爛漫の富士市「ロゼシアター」で、コロナに負けず元気に皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

ライオンズクラブ国際協会334-C地区 第67回年次大会



大会会長・地区ガバナー
久保田紀之



大会委員長
三澤賢治

「We Serve”の精神で
地域に誇れる感動の奉仕を！」



ライオンズクラブ国際協会334-C地区
第67回 年次大会

2021年4月18日（日）富士市・ロゼシアター

事務局だより

2020～2021年度第3回キャビネット会議報告



2020～2021年度第3回キャビネット会議が1月25日(月)コロナ禍の中、静岡市において開催されました。当日承認された主な事項は次の通りです。詳細は、資料と議事要録でご確認下さい。

《協議事項》

1. 2020～2021年度地区会計中間報告並びに監査報告
2. 自然災害発生時における静岡県災害ボランティア本部・情報センターの支援に関する連携協定書と静岡県社会福祉協議会(静岡県ボランティア協会)と当地区との協定締結について
3. 次期クラブ三役セミナー実施について
4. 第67回地区年次大会議事規則・代議員議事運営構成表・当日投票実施手順・年次表彰規定の確認について
5. 第67回地区年次大会実行表改訂について・前当日スケジュール並びに分担・使用会場控室等について
6. 次期地区ガバナー及び次期第一・第二副地区ガバナー立候補者承認並びに、次期キャビネット幹事・会計予定者了解について

※キャビネット会議議事要録をはじめ、地区の各種委員会議事要録や統計資料は地区ホームページの「会員専用」ページに公開しています。会員専用ページに入るにはパスワードが必要です。クラブ事務局がキャビネット事務局にお問い合わせ下さい。

《2020年冬季,21年春季・夏季YCEプログラムは中止》

大変残念なことに、全世界コロナ禍の影響よりYCEプログラムは全面中止となりました。

2021年2月～地区キャビネットスケジュール

- 3/ 9(水) 第4回ガバナーチーム会議 年次表彰最終審査会
- 3/17(水) 第3回地区GAT会議(予定)
- 3/22(月) 第4回キャビネット会議
- 4/18(日) 第67回地区年次大会
- 5/23(日) 第67回334複合地区年次大会
- 5/27(木) 次期地区役員・クラブ三役セミナー

2020年8月～2021年1月物故ライオン

| 逝去日 | 物故ライオン名 | 所属クラブ | 逝去日 | 物故ライオン名 | 所属クラブ |
|------------|----------|----------|------------|---------|----------|
| 2020. 8.13 | L 藤本 敏夫 | 富士宮LC | 2020.10.27 | L 鈴木 久 | 川根LC |
| 2020. 8.19 | L 内山 隆掛 | 川LC | 2020.11. 8 | L 石川 輝雄 | 静岡青葉LC |
| 2020. 9. 3 | L 大久保 忠訓 | 浜松ホストLC | 2020.11.27 | L 長澤 弘昌 | 清水日本平LC |
| 2020. 9.15 | L 小林 英夫 | 磐田シニアLC | 2020.12. 1 | L 木下 章夫 | 長泉LC |
| 2020. 9.22 | L 平野 健市 | 静岡橘LC | 2020.12.20 | L 小川 俊男 | 島田LC |
| 2020. 9.29 | L 網代 展明 | 浜松グリーンLC | 2020.12.31 | L 望月 正和 | 清水水LC |
| 2020.10. 8 | L 宮坂 保廣 | 沼津香陵LC | 2020.12.31 | L 青島 秀夫 | 藤枝LC |
| 2020.10.15 | L 海老名 康夫 | 静岡翼LC | 2021. 1.11 | L 藤田 慎一 | 富士マウントLC |
| | | | 2021. 1.13 | L 望月 薫 | 清水水LC |

the Lions



ザ・ライオンタイムズ DISTRICT 334-C



☆表紙の写真／「富士市大淵からの富士山」

☆裏表紙の写真／「世界遺産センター屋上からの富士山」